

## 【授業研究2】 中学校第1学年地理的分野「ヨーロッパ共同体」

### (1) 学習指導案

#### 1 単元 ヨーロッパ共同体（E.C）

#### 2 目標

##### (1) 総括目標

ヨーロッパ諸国のE.C統合への経緯や統合を可能にしている理由を、人々の生活を中心にして、わが国と比較しながら、自然及び社会的条件からとらえられるようにする。

##### (2) 観点別目標

###### <社会的事象への関心・意欲・態度>

・ 視聴覚教材などを有効に活用して、ヨーロッパ共同体の自然の様子や人々の生活の様子に興味・関心をもち意欲的に旅行計画書作りを行おうとする。

###### <社会的な思考・判断>

・ ヨーロッパ共同体の自然や産業の特色・問題点を日本と対比しとらえることができる。

###### <資料活用の技能・表現>

・ 地図、写真、統計資料などを適切に選択して、それをもとにヨーロッパ共同体の自然や産業の特色・問題点を調べ、説明することができる。

###### <社会的事象についての知識・理解>

・ ヨーロッパ共同体の人々の生活の様子と産業の発達やその問題点を調べ、その特色を理解することができる。

#### 3 単元について

本単元は、学習指導要領地理的分野内容（1）のイ「世界の諸地域の中からいくつかの地域や国を取り上げ、それぞれの地域や国の人々の生活の特色が適確に把握できる地理的事象を中心にして、それぞれの地域や国の特色を理解させ、世界がさまざまな地域や国から成り立っていることに着目させる。」ことをねらいとしている。

ヨーロッパは、世界で最初に産業革命、市民革命をおこし、近代国家を作った地域である。かつては世界の中心としてリードしてきた地域であるが、現在はその地位をアメリカに奪われてしまった。しかし、現在も世界の中心地域の一つであることに変わりはない。しかし、この地域にも問題がないわけではない。例えば、ヨーロッパ最大の農業国と工業国のフランスとドイツは、南北格差、外国人労働者と失業という大きな問題を抱えている。さらに、かつての大英帝国繁栄と衰退、そして再生への道を探る苦悩もある。これらは、他の多くのヨーロッパ諸国に共通する事柄である。このような各国のさまざまな問題を解決する道として生み出されたE.Cはいくつかの成果を上げたが、また新しい問題に直面している。

社会科は生徒にとって好きな教科の一つである。特に、古代日本のことや、世界の各地の生活の様子について調べることが好きである。しかし、社会的事象には興味をもっているが、自分から課題をもち、その解決に向けて主体的に取り組む生徒は少ない。したがって、社会的事象を言葉としてとらえることはできるが、その意味を自分なりにとらえることは苦手な生徒が多い。

以上のような実態の生徒に対して、学習に意欲的に取り組むことができるように、次のような点に配慮し、学習の展開を図りたいと考える。

○ ヨーロッパ旅行のパンフレットやビデオの視聴をして、ヨーロッパ旅行の計画書を作る学習活動を取り入れる。その資料探し、発表や話し合いなどを通して、単に「美しい」「古い文化」というようなイメージを越えた、資料に基づいた各国の生活や産業について興味・関心を喚起させ、E.C諸国の学習に入りたいと考える。

○ 自ら進んで旅行会社や旅行経験者などに質問に行きたくするような学習活動を取り入れて、主体的に学習に取り組むことができるようにする。

#### 4 学習計画（7時間）

順	学 習 活 動	評 価 の 視 点
1	○ 旅行地図と旅行計画書づくりⅠ ・ 名所案内、交通、持ち物 ・ 海外旅行に必要な、手続き (何が分かると計画書が作成できるか。)	○ 資料を基にして、意欲的に計画書作りを行うことができたか。 (旅行計画書) ○ 自分が行きたい国や場所を地図帳をもとに記入できたか。 (旅行地図)
1	○ 旅行地図と旅行計画書づくりⅡ ・ 調べたいことの発表	○ 旅行計画書を作るために必要な知識や資料を発表できたか。 (旅行計画書)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題づくり</li> <li>・学習計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習課題がとらえられたか。(ノート)</li> <li>○ 調べる計画が立てられたか。(ノート)</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習課題について調べる。</li> <li>・ ECの舞台となった自然や文化とEC諸国</li> <li>・ EC諸国の工業製品(工業)や農産物(農業)</li> <li>・ 発展課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種資料を用いて、課題解決を図ろうとしているか。(作業)</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 旅行地図と旅行計画書づくりⅢ</li> <li>・ 調べたことの発表</li> <li>・ 旅行地図と旅行計画書の完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料を効果的に使い、自分たちの主張点がよく伝わるように発表できたか。(発表)</li> <li>○ 旅行地図と旅行計画書が完成したか。(旅行地図, 旅行計画書)</li> </ul>

## 5 本時の学習(第1時, 第2時)

### (1) 目標

ECやEC諸国の様子について調べる観点を作り, 学習の計画を立てることができる。

### (2) 準備・資料

パスポート, パスポートの申請用紙, 白地図, 旅行計画書, 旅行パンフレット, ヨーロッパのポスター  
ヨーロッパのVTR「ヨーロッパの観光地」

### (3) 展開

学 習 活 動	教 師 の 支 援 ・ 評 価
1 ヨーロッパのVTRを見る。 (景観・位置・国・自然・生活の様子など) 2 EC旅行地図と旅行計画書を作成する。 ○ 海外旅行に必要なものを調べる。 (パスポート, ビザ, 出入国カード, 搭乗券) ○ 必要な手続きの一部を体験する。 (パスポートの申請用紙や出入国カードの記入) ○ 行きたい国, 行きたい所(名所旧跡を考え, 白地図)に記入する。 ○ 旅行地図と計画書を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ VTRの視聴や海外旅行手続きを体験することによって, ヨーロッパ旅行をしたいという気持ちが高まるようにする。</li> <li>・ 海外旅行計画書を作成しようとする意欲がもてたか。(旅行計画書, 遅れぎみの子がいる3, 5班を中心に評価する。)</li> <li>・ 旅行計画書を自由に作り, 既存の知識だけでは作れないことに気付くことができるようにする。</li> <li>・ 旅行に行きたい国を地図帳をもとに記入できたか。(旅行地図, 旅行好きの子がいる2, 7班を中心に評価する。)</li> </ul>
3 なぜ地図と計画書が作成できないのか話し合う。 ○ 作成上の疑問点, 困難な点を考え, メモする。 (国名, 気候, 地形, 地名, 有名なおみやげ, 食べ物, 伝統工芸, 名所旧跡, ECのよいところ, 悪いところなどが分からないから) ○ 主なものを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旅行計画書を作成するため, ECの様子を調べようとする意欲をもつことができるようにする。</li> </ul>
4 何が分かればEC旅行地図と計画書が作れるか話し合う。 ○ EC諸国の自然, 国名, 地名 ○ EC諸国の産業(工業・農業) ○ EC諸国の歴史や文化 ○ EC諸国の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表されたものを, 自然, 産業, 歴史や文化, 課題, その他に分類することができるようにする。</li> <li>・ 自然や文化, 産業, 課題についてはグループで調べる。発展課題については, グループ別課題を調べ終わったとき個人的に調べるものとする。</li> </ul>
5 EC諸国の疑問点やわからないことをもとに学習課題をつくる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ECの舞台となった自然や文化とEC諸国</li> <li>・ EC諸国の工業製品(工業)や農産物(農業)</li> <li>・ ECの利点と問題点</li> <li>・ 発展課題</li> </ul> ヨーロッパの国々の様子をよく調べ, EC旅行地図と旅行計画書をつくろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習課題がとらえられたか。(ノート, 1, 6班を中心に評価する。)</li> </ul>
6 調べる計画を立てる。 ○ グループ分けをし, 係を決める。 ○ 課題を選択する。 ○ まとめ方, 調べる方法について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループ編成は5人とし, 司会, 発表, 書記, 資料などの係を決めるようにする。</li> <li>・ 調べる計画が立てられたか。(ノート, 3, 4班を中心に評価する。)</li> </ul>

## (2) 学習活動の展開

(第1時)

ア ヨーロッパのVTRを見て、ヨーロッパの様子を概観する。

VTRの内容

ライン川の様子 (観光・産業・水運)

ドイツの歴史 (ハイデルベルク・ローテンブルク・古城)

イ ヨーロッパ旅行の準備を行う。

(ア) ヨーロッパへ旅行するとき、必要なものを調べる

お金, 洋服, バッグ, パスポート, 通訳, カメラ, 地図, 搭乗券, ホテルのチケット, 保険, ビザ

(イ) パスポート申請用紙に記入する。

(ウ) どこへ行くか決める。

(エ) EC旅行地図に行きたい所, 行きたい国を記入し, 旅行計画書を作成する。

ウ 旅行計画書がなぜできないのか, 話し合う。

T: できましたか。

S: できそうにありません。

T: なぜできないのですか。

S: ヨーロッパの範囲がどこからどこまでなのかよく分からないので。

S: 日本からどれくらい時間がかかるのか分からないので。

S: 空港のある場所が分からないので。

T: 旅行計画書を作成するために, これから何をしなければならないと思いますか。

S: ヨーロッパの様子を調べる必要があると思います。

S: ヨーロッパの産業の様子を調べる必要があると思います。

以下, ヨーロッパの都市の様子, 自然, 交通などについて発表があった。

T: その他, どんなものを調べていかなければならないか, グループで話し合ってみよう。

5班の話し合いから

S: どんなものを調べる必要があるだろう。

S: 観光名所はどこにあるか調べる必要がある。

S: どんな人が住んでいるか調べたい。

S: 空港はどこにあるかも調べたい。

S: ホテルについても調べたい。

S: 盛んな産業はなにか。また, どこで盛んかも調べる必要がある。

S: 町の様子や使われている言葉・宗教についても調べたい。

S: どんなおみやげがあるかも調べたい。

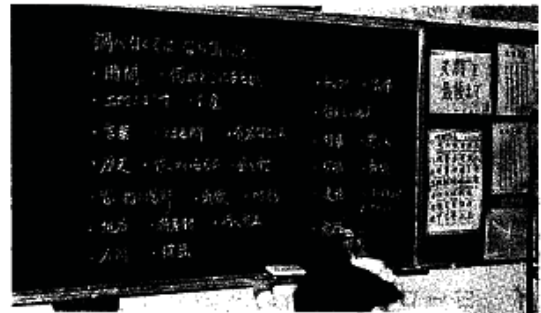


申請用紙に記入している生徒

T：グループで話し合ったことを発表してください。



資料を調べる生徒



発表された内容

T：次の時間は、発表してもらったものをもとに、ECの様子を調べる計画を立てていきたい  
と思います。

(第2時)

エ 学習計画を立てる。

T：みんなでECの様子を調べる計画を立てていきたいと思います。どうしたらよいですか。

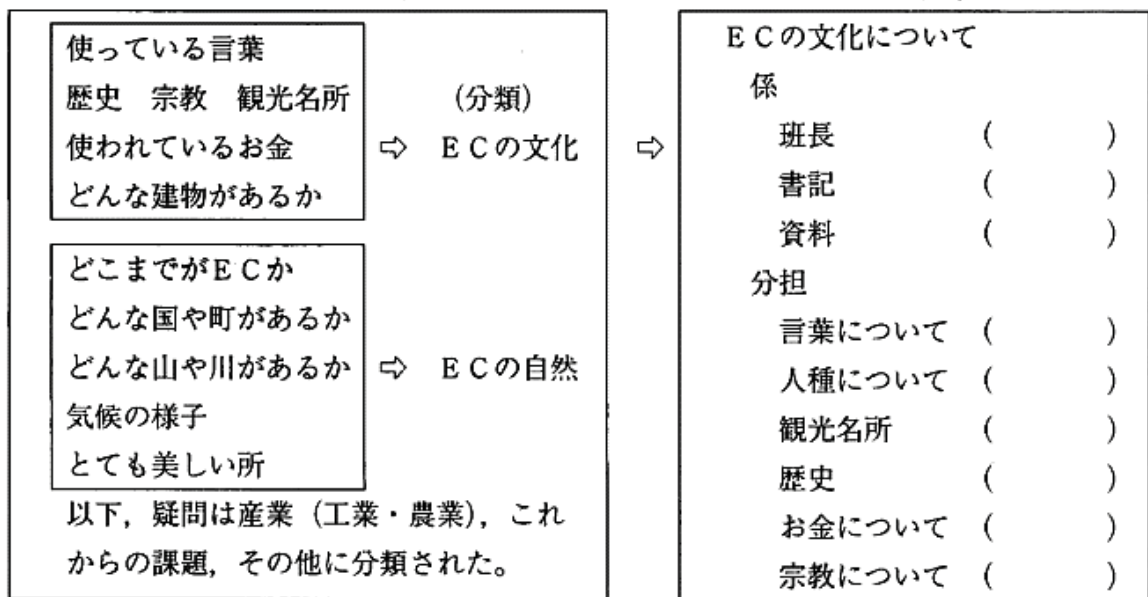
S：これから何を調べなくてはならないのか、話し合う必要があると思います。

S：調べなくてはならないものを同じ内容ごとにまとめたらよいと思います。

S：次に、同じものを調べたい人が集まってグループを作ったらよいと思います。

生徒からでてきた疑問の分類

計 画 書



以下、疑問は産業(工業・農業)、これからの課題、その他に分類された。



学習課題：ヨーロッパの国々の様子をよく調べ、EC旅行地図と旅行計画書をつくろう。

T：では、次の時間からECの様子を調べ、EC旅行地図と計画書を作成しましょう。

(3) 実践の考察

ア 問題意識を大切にした学習過程について

学習意欲を高めるためには、短期的に興味・関心を高めるだけでなく、社会的事象を学習する目的を生徒一人一人がしっかり自覚しなければならないと考える。そこで、本単元では、EC旅行計画書作成を目標にして、そのためにECの様子を調べるという学習を組み立ててみた。

ECは生徒にとってあこがれの地であり、一度は行ってみたい国が多い。その気持ちはVT

Rの視聴や、パスポートの申請書を書くことなどを通してさらに高まったと考える。ECの旅行計画書を作成したいという気持ちをもつことができ、学習目標を生徒一人一人がつかむことができたのではないかと考える。

#### イ 学習意欲を高める具体的な学習活動について

旅行計画書の作成に関しては、予想どおり作成できなかった生徒が多かった。この学習活動を通して、今まで知っていると思っていたECの様子が、本当は分からないという事実が生徒は気づき、旅行計画書作成のためにECのことを知りたいという欲求が高まった。

ECを調べる柱として、旅行計画書作成にした。これは、地理の場合どうしても、産業、地形など部分的に調べ、最後に統合するという学習形態が多い。これでは、生徒の興味・意欲はなかなか持続しない。そこで、旅行計画書作成のために地理的内容を調べるという逆の発想で授業を構成してみた。生徒の興味・関心は大いに高まり持続性が見られたが、生徒の興味・関心の方向と学習目標との間に少しずれが見られた。授業の始めに見たVTRの内容が観光案内だったため、観光面に興味が集まり、産業面に関する興味が薄かったものとする。授業の初期における資料の大切さを感じるとともに、VTRの内容を検討する必要があることを感じた。

#### ウ 成長を実感できる評価の工夫について

自分の学習したことを他の人から評価される、自分の成長を自分で感じることができる、こういう活動を意図的に学習活動に位置付けることは、学習意欲を高める上で効果的であると考ええる。

自分の課題追究をどれだけできたかグループ内で話し合った。この話し合いを通して、自分の追究の不足を知ることができたようである。また、この話し合いの中で、必要な資料などの情報交換も行われた。本時の学習をグループ員全員で振り返ることは、次時の学習方法、内容などの見通しをもつ上でも、とても効果的であると考ええる。

自己評価は、自分自身で学習活動を振り返ることにより行われる。その活動の中で、自分の成長を感じることができたら、自己評価はとても効果的であると考ええる。

ECの学習に興味・関心をもち、主体的に取り組むため、旅行計画書の作成から学習を開始した。これは、よく分かっていると思っていたECのことが、実はよく分からないということを実感するためである。また、ECの授業の最後の段階で、再度、旅行地図を作成してみた。これは、最初の地図と比較することにより、自分の成長を目で確かめ、成長の跡を具体的にとらえることができるようにするためである。自分の成長を実感することは、生徒が学習の充実感を感じることにつながる。この充実感は、次の学習への学ぼうとする意欲につながるであろう。

#### エ まとめ

学習の目標、目標達成のための手順、調べるための資料など学習の見通しをもつことができ、生徒は、主体的に学習に取り組むことができた。さらに、調べたことをもとに、生徒一人一人が自らの判断で行きたい所を設定し、旅行計画書を作成した。生徒が自らの生き方に迫るためには、自ら学ぶ力、自ら考える力、そして、社会の変化に主体的に対応できる力の育成は大切であると思う。その意味でも、旅行計画書、旅行地図作成を柱として展開したECの授業は、効果的であったと考える。